

平成 26 年度 第 2 回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会会議録

1 会議の名	平成 26 年度 第 2 回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成 27 年 3 月 20 日 (金) 13 時 57 分～15 時 26 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 503 会議室
4 審議等事項	(1) 平成 26 年度事業の進捗状況及び予算執行状況について (2) 平成 27 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について (3) 要綱の改正について (4) 報告について
5 出席者名	(委員) 高橋 恭市、渡辺 隆二、高橋 正人、 庄司 優人、森 孝夫、神子 勇、高木 淳子 (千葉県) 平田 和弘、大澤 浩司 (柵野生動物保護管理事務所) 白井 啓 事務局 (富津市) 古宮 浩二、島田 守、桐村 修司、知念 孝男 (君津市) 矢野 淳一、當眞 紀子 (調査団) 直井 洋司、白鳥 大裕
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

<p>島田生涯学習 課長</p>	<p>定刻前ではありますが、委員の皆さまにお集まりいただきましたので、ただ今から平成 26 年度第 2 回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は何かとお忙しい中御出席を頂き、誠にありがとうございます。 本日の進行を生涯学習課の島田が務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。 本日の会議は、出席者 7 名、欠席者 6 名です。よって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第 7 条第 2 項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、高橋富津市副市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>委員の皆様におかれましては、公私共に御多忙の中、御臨席を賜りありがとうございます。</p> <p>また、日頃富津市・君津市の文化財行政に御理解と御協力を頂きまして深く感謝申し上げます。</p> <p>昭和 62 年に設置されました当委員会でございますが、サルや猪による作物への被害が多い中、その役割は益々重要なものとなっております。</p> <p>そうした中で本日会議を開催しましたところ、大変お忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から平田様、千葉県環境生活部自然保護課から大澤様、(株)野生動物保護管理事務所から白井様にお越しいただいております。</p> <p>さて、本日の議題は、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)平成 26 年度事業の進捗状況及び予算執行状況について (2)平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）について (3)要綱の改正について の 3 件でございます。 <p>また、報告事項として、本被害防止事業と関連する事業も含めまして、千葉県の職員の方をはじめ関係機関の方からそれぞれの立場からお話を伺う次第でございます。</p> <p>様々な立場からの御意見、御提案等活発な審議をお願いいたします。 以上、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>島田生涯学習 課長</p>	<p>ここで議題に入ります前に、桐村文化係長の方から、お手元にお配りしました資料の確認を行います。</p>

<p>(富津市) 桐村文化係長</p>	<p>それでは、お配りしました資料の確認をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議次第 2. 当会議委員等名簿 3. 席次表 4. 平成 26 年度事業の進捗状況（途中経過報告書） 5. 平成 26 年度予算執行状況 6. 平成 27 年度事業計画書（案） 7. 平成 27 年度事業予算（案） 8. 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱新旧対照表 <p style="text-align: center;">以上の 8 点です。</p> <p>本日の会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。ないようでしたら、資料の確認を終わります。</p>
<p>島田生涯学習 課長</p>	<p>会議の公開についてですが、この会議は、富津市及び君津市情報公開条例により一般に公開されます。公開の方法としまして、会議の終了後、会議録を作成し、両市のホームページにて公開します。</p> <p>このため、後ほど会議録署名人 2 名を決めて頂きたいと思えます。また、会議録作成のため録音をさせていただきますので、御了承願います。</p> <p>それでは、本委員会設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、議長を高橋委員長をお願いします。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>規定によりまして、議長を務めさせていただきます。円滑な議事進行に務めてまいりたいと思えます。</p> <p>それでは、議題に入る前に会議録署名委員を 2 名決めたいと思えます。こちらから指名してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>高橋委員と神子委員にお願いしたいと思えますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>では、議題に入ります。議題（1）平成 26 年度事業の進捗状況及び予算執行状況について事務局の説明を求めます。</p>
<p>(君津市) 當眞</p>	<p>平成 26 年度事業の進捗状況について報告いたします。</p>

<p>副主幹(事) 文化財係長</p>	<p>○資料『天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書(途中経過) 平成 27 年 2 月 28 日現在』に沿って説明。</p> <p>実施した事業は、1. 被害防止、2. 生態調査と個体数管理、3. 天然記念物指定地域の生息環境調査の大きく 3 つに分けて行われています。</p>
<p>(君津市) 眞副主幹(事) 文化財係長</p>	<p>1. 被害防止について (資料 : 1 ページから 4 ページ)</p> <p>(1) 電気柵による被害防止</p> <p>電気柵による被害防止については、①維持管理②改修③撤去の 3 本柱で行いました。既存電気柵の維持管理については、富津市宇藤原・高溝地区、君津市平田・西日笠地区・怒田沢地区の電気柵の点検や改修を行いました。改修につきましては、今年度は、富津市高溝地区及び君津市平田地区において合計 350m 程度を実施中でございます。撤去につきましては、富津市宇藤原地区の電気柵の一部区間 (20m 分) について撤去しました。</p> <p>(2) 被害多発期の追い込みによる被害防止</p> <p>今年度は石見堂群のテレメーターが脱落してしまったこともあり、テレメーターの装着を優先させるため、例年よりも短い期間である 8 月 18 日から 9 月 6 日までの 20 日間、延べ 27 人で実施しました。</p> <p>テレメーターの装着を優先させたことにより石見堂群の個体にテレメーターを装着させることができました。</p> <p>(3) 被害実態調査</p> <p>今年度の 3 月に実施する予定でございます。</p>
<p>(君津市) 眞副主幹(事) 文化財係長</p>	<p>2. 生態調査と個体数管理 (資料 : 5 ページ)</p> <p>(1) 生態捕獲と個体調査</p> <p>テレメーターを設置するために箱ワナを設置し、今年度は 2 頭を捕獲することが出来ました。その内の 1 頭が石見堂群の個体「イナ(メス)」であり、オトナのメスであったためテレメーターを装着いたしました。もう 1 頭の個体「アオバズク (オス)」については、交雑個体であり、捕獲檻の中には入りましたが死亡してしまいました。採取した血液は、環境省や千葉県で行っている事業のため、遺伝子分析の試料として提供しました。</p> <p>(2) 追跡調査</p> <p>26 年度は T-I 群、T-II 群、石見堂群、旅名 A 群、西日笠群(仮称)を対象として追跡調査を実施しました。今年度の現状については、7 頭のテレメーター装着個体がございます。平成 26 年度分は、石見堂群の個体「イナ (メス)」が追加となっております。</p>

(君津市) 眞
副主幹(事)
文化財係長

i) T-I 群

テレメーター装着個体「ラン」の追跡により調査をしていましたが、ランのテレメーターが脱落し回収され、ランの死亡も確認されたために、T-I 群については年度途中で装着個体がいなくなるということになってしまいました。T-I 群の今年度の行動域は前年度に比較して狭くなっていますが、これはテレメーターがないために追跡が難しい状況となっていることの結果でございます。

ii) T-II 群

T-II 群については今年度、環境省による「平成 26 年度特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）」の対象の群れとなりました。以前よりテレメーターがついている「ワカコ」に加えて、環境省の事業により「ベリー」と「ハチ」の 2 頭の個体にテレメーターが装着されました。行動域についてはやや西寄りにシフトする傾向があるものの例年どおりの行動域となっております。

個体数の確認については、環境省事業により 15 頭を捕獲することができました。全頭ではないということ念頭に置きますと、T-II 群は 20 頭前後の小さな群れではないかということが改めて確認できた次第でございます。

iii) 石見堂群

今までは個体「シンジ（オス）」に装着していたテレメーターからの電波発信により追跡しておりましたが、電波発信は確認できるものの不動の状態となってしまう、追跡が困難になりました。そのため、石見堂群の個体に何とかテレメーターを装着しようと捕獲を行ったところ、「イナ（メス）」にテレメーターをつけることができました。

今年度はこの「イナ」の追跡により調査を実施しました。この追跡調査により行動域を把握することは出来ましたが、群れの個体数をカウントする機会を得ることは出来ませんでした。

iv) 旅名 A 群

こちらの群れについては、T-II 群と同じく、環境省事業「平成 26 年度特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）」の対象の群れとなっております。今年度はこの環境省の事業により個体「タビ（メス）」にテレメーターを追加で装着することができました。

群れの個体数については、環境省事業により 38 頭がカウントされていますが、数え漏れがあることを考慮しますと、旅名 A 群は 50 頭以下程度の群れであることが推測出来ます。

v) 西日笠群（仮称）

この群れは昨年度、メスの個体「ワサビ」に新たにテレメーターを装着しましたが、今年度の 9 月に「ワサビ」の死亡が確認され追跡調査を中断する運びとなったため、平成 26 年度の行動域については 2014 年の 4 月～8 月のデータでございます。平成 25 年度の行動域と比べると、かなり広がっているような印象がありますが、「ワサビ」にテレメーターを装着したのは平成 25 年度の 1 月末でございます。平成 25 年度の行動域については十分な追跡調査を行えなかったためであり、行動域が急に広がったというわけではないことを説明させていただきます。

(君津市) 眞

<p>副主幹(事) 文化財係長</p>	<p>個体数については、カウントの機会が得られないまま調査中断に至りました。</p> <p>(3) 個体数管理 今年度の有害鳥獣駆除については、例年どおり、君津市農林振興課及び富津市農林水産課から資料を提供していただいた後に取りまとめる予定でございます。</p>																		
<p>(君津市) 當眞 副主幹(事) 文化財係長</p>	<p>3. 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査</p> <p>(1) 環境改変 ①天然更新 高宕山県有林(君津市)の広葉樹林造成試験地において樹高5m以上を対象に成長量の測定を今年度3月に実施する予定です。 ②ヤマザクラ植栽地の成長状況 国有林(富津市)の皆伐採地に植栽したヤマザクラについて、引き続き、成長量の測定を今年度3月に実施する予定でございます。</p> <p>(2) 生息環境調査 今年度も例年どおり、富津市宇藤原地区の峰上ステーションで気温と降水量の測定を行いました。このデータについては、3月末に取りまとめる予定でございます。</p> <p>平成26年度事業の進捗状況の説明は以上となります。</p>																		
<p>(富津市) 桐村文化係長</p>	<p>それでは引き続き平成26年度天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況について御説明いたします。</p> <p>○資料『平成26年度天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況 平成27年2月28日現在』に沿って説明。</p> <table border="0" data-bbox="443 1433 1085 1825"> <tr> <td>歳入 (収入済額)</td> <td>4, 473, 000円</td> </tr> <tr> <td>内訳 富津市</td> <td>2, 460, 000円</td> </tr> <tr> <td>君津市</td> <td>2, 013, 000円</td> </tr> <tr> <td>歳出 (支出済額)</td> <td>3, 831, 477円</td> </tr> <tr> <td>内訳 報償費</td> <td>12, 000円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>2, 223, 580円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>306, 100円</td> </tr> <tr> <td>需要費</td> <td>1, 278, 678円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>11, 119円</td> </tr> </table> <p>平成26年度の予算執行状況の報告については以上となります。</p>	歳入 (収入済額)	4, 473, 000円	内訳 富津市	2, 460, 000円	君津市	2, 013, 000円	歳出 (支出済額)	3, 831, 477円	内訳 報償費	12, 000円	賃金	2, 223, 580円	旅費	306, 100円	需要費	1, 278, 678円	役務費	11, 119円
歳入 (収入済額)	4, 473, 000円																		
内訳 富津市	2, 460, 000円																		
君津市	2, 013, 000円																		
歳出 (支出済額)	3, 831, 477円																		
内訳 報償費	12, 000円																		
賃金	2, 223, 580円																		
旅費	306, 100円																		
需要費	1, 278, 678円																		
役務費	11, 119円																		
<p>(調査団) 直井 (調査団)</p>	<p>平成26年度事業の報告内容について補足説明させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の設置について 																		

<p>直井</p>	<p>今年度は群れのテレメーターが脱落し追跡が出来なくなっていましたという状況がございました。そのため、今年度は群れにテレメーターを装着するべく動いてはいましたが、本事業では石見堂群の1体のみにはテレメーターの装着に至らなかったのが実状でございます。このため、本来であれば、テレメーターに回すはずであった費用が浮くという形になりましたが、結果としては、その分を電気柵の設置の費用に回すという形といたしました。</p> <p>電気柵の設置については、富津市宇藤原地区の地元からの要望で年間である程度まとまった距離での設置をお願いされているところですが、地元には予算の関係もあり実現が困難であることは説明しております。宇藤原地区については、来年度の出来るだけ早い時期に設置をし、来年度設置をする予定となっている電気柵が年間をとおして被害防止に効果を上げられるような方法で設置を検討していきたいと考えております。まとまった距離での電気柵の設置については、予算に制限がある現状であるので、補助金等を活用していくことも検討していくべきだとは考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルの捕獲について <p>また、捕獲については、サルが捕獲ワナにかからなくなっている傾向がありテレメーターが装着しづらくなってきております。捕獲手法について検討し直さなければいけない部分もございますが、捕獲手法については、後ほど報告される予定となっている環境省事業で導入している捕獲方法について検討をしても良いと考えております。新しい捕獲手法の検討についても、予算に制約がある現状であるので、他の事業や他の予算の活用についても検討されるべきであると考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T-I 群の行動域について <p>T-I 群の行動域については発信器がついていないため確認できた行動域は狭くなっておりますが、行動域の西側にあるゴルフ場の中を遊動する傾向が強いのではないかと考えております。他の群れを調査する過程でT-I 群を確認する回数が減ってきており、ゴルフ場の中を利用する頻度が増える傾向があるのではないかと、という意見が調査員の中からございます。</p> <p>また、今年度の石見堂群の行動域については、前年度・前々年度に比較してかなり西側にシフトしてきております。石見堂群の行動域が西にずれた結果、T-I 群の遊動域も石見堂群に押されるような形で西側に重点を移すようになったという可能性がございました。</p> <p>補足説明は以上となります。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>議題（1）平成26年度事業の進捗状況及び予算執行状況について説明は終わりました。</p> <p>ただいまの説明について何か御質問等ございませんか。</p>

委員一同	特になし。																																				
高橋議長	御質疑もないようなので、議題（１）平成 26 年度事業の進捗状況及び予算執行状況について、御承認頂けますでしょうか。																																				
委員一同	異議なし。																																				
高橋議長	どうもありがとうございました。本件は承認されました。 続きまして、議題（２）に移ります。 議題（２）平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）について事務局の説明を求めます。																																				
(君津市) 眞副主幹(事)文化財係長	平成 27 年度事業計画（案）について御説明いたします。 資料：『平成 27 年度天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業計画書（案）』に沿って説明。 （１）被害防止事業 ①既設電気柵の維持管理 ②被害多発期の追い払いによる被害防止 ③被害実態調査 （２）生態調査と個体数管理 ①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数 ②T-I 群の生態に関するデータの取りまとめ ③ 個体数管理 （３）天然記念物指定地域の生息環境調査 ① 生息環境調査																																				
(富津市) 桐村文化係長	それでは引き続き平成 27 年度予算案について御説明いたします。 ○平成 27 年度の事業予算（案）について 資料：『平成 27 年度 天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算（案）』に沿って説明。 <table border="0"> <tr> <td>歳入</td> <td>委託料</td> <td></td> <td>4, 473, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内 訳</td> <td>富津市</td> <td>2, 460, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>君津市</td> <td>2, 013, 000円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>予算額</td> <td></td> <td>4, 473, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>報償費</td> <td></td> <td>119, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td></td> <td>2, 794, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td></td> <td>289, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td></td> <td>1, 249, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td></td> <td>22, 000円</td> </tr> </table> <p>平成 27 年度予算（案）につきましては以上です。</p>	歳入	委託料		4, 473, 000円		内 訳	富津市	2, 460, 000円			君津市	2, 013, 000円	歳出	予算額		4, 473, 000円		報償費		119, 000円		賃金		2, 794, 000円		旅費		289, 000円		消耗品費		1, 249, 000円		役務費		22, 000円
歳入	委託料		4, 473, 000円																																		
	内 訳	富津市	2, 460, 000円																																		
		君津市	2, 013, 000円																																		
歳出	予算額		4, 473, 000円																																		
	報償費		119, 000円																																		
	賃金		2, 794, 000円																																		
	旅費		289, 000円																																		
	消耗品費		1, 249, 000円																																		
	役務費		22, 000円																																		

高橋議長	直井さんから補足説明はございますか。
(調査団) 直井	特にありません。
高橋議長	説明は終わりました。 ただいまの説明について何か御質問等ございますか。
渡辺委員	議題（１）の補足説明の話の中で、テレメーターが中々装着できなかったため、その分の費用を電気柵の改修の費用に回したという説明がありました。27年度の事業についても全面的な電気柵の改修を実施するとありますが、これもテレメーターの装着具合によって電気柵の改修計画の縮小や拡大が図られるという理解でよろしいでしょうか。
(調査団) 直井	今年度はそのような形で予算を執行しておりました。平成27年度の事業についても同じような形で予算を執行する方向で考えております。
渡辺委員	先ほど、議題（１）の補足説明の中で、別の予算を活用して何か新しい捕獲手法等の検討を行えないかという話がありましたが、別の予算の活用ということに関して何か見通しは立っているのでしょうか。
(調査団) 直井	今年度の環境省の交雑対策事業により本事業で調査の対象としている群れに追加でテレメーターを装着することができました。このようにして他の事業で捕獲された個体にテレメーターが装着される、或いは、環境省の事業でなくても、西日笠群は小型檻による有害鳥獣駆除で捕獲された個体を譲り受けそれにテレメーターを装着したという状況でございます。 他の事業や機関と連携が取れるようにもっと積極的に動いていきたいと考えている次第です。
高橋議長	他にございますか。 他に御質疑もないようですので、議題（２）平成27年度事業計画（案）及び予算（案）について、御承認頂けますでしょうか。
委員一同	異議なし。

高橋議長	<p>どうもありがとうございました。本件は承認されました。 それでは、議題（３）に移ります。 議題（３）天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱（案）について事務局の説明を求めます。</p>
(富津市) 桐村文化係長	<p>議題（３）天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱の改正案について</p> <p>天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱 第6条 委員の委嘱について 第6条 委員は次に掲げる者のうちから委員長が委嘱する。 改正前 （４）富津市経済環境部農林水産課長 改正案 （４）富津市建設経済部農林水産課長 この要綱は、平成27年4月1日から施行いたします。</p>
高橋議長	<p>説明は終わりました。 ただいまの説明について何か御質問等ございますか。</p>
委員一同	<p>特になし。</p>
高橋議長	<p>御質疑もないようなので、 議題（３）天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱の改正案について、御承認頂けますでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
高橋議長	<p>どうもありがとうございました。本件は承認されました。続きましては「会議次第 4 報告」でございます。 初めに、千葉県教育庁文化財課の平田様、「平成27年1月16日文化庁協議」について御報告をお願いいたします。</p>
県文化財課 平田主任上席 文化財主事 県文化財課	<p>平成27年1月16日に、富津市及び君津市の担当者と調査団の方と共に文化庁調査官の方と本事業の今後の方針について協議をしました。 現状では、本来、指定地域と一体となって指定されていた T-I 群は</p>

平田主任上席
文化財主事

既に生息地から遠く離れ、文化財保護法における天然記念物とは言えない状況となっております。ただし、T-I群については、学術的な研究対象としてデータが蓄積されており、天然記念物とは別の枠組みで保護したほうが良いという御意見も頂いております。

T-I群が天然記念物とは言えない状況である、ということで高宕山のサル生息地では、現時点で、天然記念物のサルの群れが特定できていない状況でございます。

そのような状況ではありますが、文化庁の指針によりますと、文化財保護法における天然記念物のサルとは、指定地域を生活域とする群れであるということでした。指定地域を生活域とする群れは天然記念物であるという定義であるので、現在、指定地域周辺で行われているサルの捕獲については、天然記念物のサルである可能性があり、国の現状変更許可申請が必要になってまいります。特定鳥獣保護計画で天然記念物の群れ管理について詳しく規定されているのであれば、指定地域内であろうと、計画に基づく捕獲であれば現状変更許可が可能となるというお話でございました。

今後の方針としては、これまで以上の規模で、サルの群れの詳細な調査を行い、天然記念物とすべきサルの群れとその生態を明らかにすべきでございます。そして、調査のデータに基づき、目標の期日を定め、調査に基づいた保存管理計画を策定し、個体数調整を行っていくべきだと考えております。保存管理計画は策定した後も、調査の進行に応じて内容を変更することは可能でございます。

また、昭和55年文化財部長回答に基づく、現在の「準指定地域」・「協議地域」は文化財保護法に則ると好ましくない状況にあると言っているので、保存管理計画を策定後、協議書を管理団体から提出することによって、修正することが望ましいということでした。

なお、大規模な調査には国庫補助事業として行うことができますが、補助金については、現状以上の事業を行うための不足を補うというもので認識をして欲しく、補助金が出ることによって、現状の予算が減少するという事は好ましいことではない、ということでした。

事務局には、今後の保存管理計画の策定に関してどのように考えているのか、伺いたく思います。

(君津市)
當眞副主幹兼
文化財係長

本事業においても数年前から指定地域内における群れ数や頭数が把握できていないということでテレメーターの装着に重点を置いた事業を進めてきてはおりますが、捕獲に苦慮する現状の中、全体像を把握できていないということを事務局としても認識している次第でございます。また、新たな捕獲方法も検討する必要があると考えております。そういったことも含めましてこれから前向きに検討していきたいと考えております。

高橋議長

ありがとうございました。

株野生動物保護管理事務所
白井主任研究員

株野生動物保護管理事務所の白井様、「特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）業務」について、お話をお願いいたします

○“環境省アカゲザル事業”「特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）業務」の経過について説明

T-II群と旅名A群を対象に調査を致しました。

○調査対象群の個体数カウントと捕獲結果について

それぞれの群れについて旅名A群(平成26年9月12日)については38頭、T-II群(平成26年7月～11月)については9頭をカウントいたしました。数え漏れがあるかもしれないことを考慮しますと、それぞれの群れの推定頭数は、旅名A群が40～60頭であると推測しております。T-II群については箱ワナにより15頭を捕獲しましたが、捕獲地の周囲に1頭か2頭の個体を確認したため15頭～17頭であると推測しております。

T-II群は15頭、旅名A群については25頭を捕獲いたしました。T-II群については遺伝子検査の結果からニホンザルであると判定したため全個体を放獣いたしました。留め置き中にコドモオス1頭が死亡、放獣後もテレメーターを装着した3頭の内の1頭が死亡してしまいました。

旅名A群は捕獲した全25頭について遺伝子検査をした結果からニホンザルであると判定したため全個体を放獣いたしました。こちらについても留め置き中にコドモオス1頭が死亡しております。

○現場での計測結果について

遺伝子検査の結果についての詳細を御説明致します。

遺伝子検査については、血液蛋白 mtDNA 検査（京都大学霊長類研究所）と千葉 H20-M15 分析法（かずさ DNA 研究所）2つの方法で検査を行いました。

京都大学霊長類研究所による検査においてはT-II群・旅名A群の両方が全頭ニホンザルであるという検査結果となりました。かずさ DNA 研究所における遺伝子分析についてはT-II群は全頭がニホンザルという結果が出ておりますが、旅名A群についてはまだ結果が出ておりません。

捕獲現場において外見による交雑判定も行いましたが、概ねニホンザルではあるがアカゲザルとの交雑が疑われる個体もそれぞれの群れでございましたが、現場での外見による交雑判定は感覚的なものであることが否めませんので、遺伝子検査の結果を客観的なデータとしている次第でございます。

来年度もただ今御説明させて頂いたような調査を行います。T-II群や旅名A群や他の群れも調査をしていき、形態計測をすることによって交雑の判定を出来るような基準を作っていくために調査を参ります。

株野生動物保

<p>護管理事務所 白井主任研究員</p>	<p>また、T-II群と旅名A群については交雑率が低いであろうと予想をした上で調査を開始致しました。天然記念物ではない地域の群れについては交雑率が高い可能性がございます。例えば、南房総市の市部瀬群という群れにおいては、形態から交雑個体であることが確実であると判定されたコザルの個体がありますが、コザルであるのでニホンザルの群れの中で生まれた個体ということでございます。このような個体をどのように割り出して除去していくのか、基準を作るために調査を実施しております。</p> <p>来年度までの事業という形であるので、来年度の仕様についても固まりましたら改めて相談させて頂こうと考えております。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、千葉県自然保護課の大澤様、お願いします。</p> <p>「特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）業務」について、千葉県として補足等のお話がありましたら、お願いします。</p>
<p>県自然保護課 大澤副主幹</p>	<p>先ほどの白井さんの報告とは別のお話となります。</p> <p>先ほど、直井さんのお話の中でありました「別の事業で捕獲された個体にテレメーターが装着された」ということに関しまして、千葉県でニホンザルの調査事業というものをやっておりますが、その中でテレメーターの装着、ということをやっております。市町村の有害鳥獣捕獲で捕まったサルを千葉県の事業としてテレメーターを装着しているという事業がございます。そういった事業を活用しながらテレメーターの装着を進めていただければと考えております。</p> <p>千葉県としては、千葉県全体の群れの把握となると難しい面がありますが、できるだけ群れを把握して行動域の調査を行うという観点から、テレメーターの装着を進めておりますので、そういったテレメーターの装着に関して市町村と連携して取り組んでいければと考えておりますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、庄司委員、「獣害と戦う農村集落づくり事業」について、お話をお願いします。</p>
<p>庄司委員</p>	<p>獣害と戦う農村集落づくり事業につきまして取り組み状況につきまして報告させて頂きます。獣害につきまして年々被害が拡大する傾向がある上に、生息域も変化していることから従来どおりの個人での対策では限界が来ている次第でございます。そのため、これからは地域が一体となって獣害の対策に取り組んでいこうという活動を支援していこうという事業でございます。今年度より田倉地区が取り組みを始めたところでございます。現在の田倉地区につきましては、農作</p>
<p>庄司委員</p>	

	<p>物の被害のみならず家屋への浸入や道路を掘り起こすなど、獣害の被害により農業生産どころではなく他の地域へ生活に移そうと考えている人まで居る現状でございます。</p> <p>事業に対してどのように取り組んでいるのかということでございますが、今年度は事業の初年度ということでございますので、まずは出没状況や被害状況の把握、今後の対策についての協議、調査団の直井さんをお願いをして勉強会を行うなどソフト面での活動を実施したところでございます。未だ目に見える効果というものは出ていないのが現状であります。今後については調査団さんの協力を得て、更なるサルの群れの生態や習性を把握し、田倉地区の住民が一丸となって効果的なサルの追い払い活動を実施し、被害減少の成果を出し、その成果を周辺地域にも広げていければと考えている次第でございます。</p> <p>報告については以上となります。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明につきまして、何か、御質問等ございますか。</p> <p>ないようですので、本日、予定しておりました議題・報告については以上でございます。</p> <p>その他、何かございますか。</p>
(調査団) 直井	<p>一つ御報告しておかなければいけないことがございます。</p> <p>環境省の交雑対策事業の関係で、地元の方より、これだけのニホンザルを捕獲しているのであれば少しは間引くことを検討してくれないかという御要望が出ております。その方は、交雑対策事業で捕獲している点については十分に理解しておられます。そういった捕獲したニホンザルを間引くということにつきましては、天然記念物の関係があるため中々に難しい現状であることについては御説明をしている次第ではあります。</p> <p>先ほど、千葉県教育庁の平田さんからのお話でもありましたが、天然記念物に関わる群れのサルであっても保護管理の計画を立てる中で個体数調整は可能な方向になるであろう、ということについて申し上げます。このことについて、今後は各機関と検討をしながらそういう方向にしていくべきである、ということをごいう会議の中で発言していく旨を地元の方には御説明をして理解をしていただいております。そのことを御承知おき頂ければ、と考えている次第でございます。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にございますか。</p>
県文化財課	<p>先ほど私が御報告をしました保存管理計画についてですが、補足さ</p>

<p>平田主任上席 文化財主事</p>	<p>させていただきます。保存管理計画については、途中の調査の進行に応じて変更をすることも可能でございますので、まずは保存計画を立てるんだ、というところを目標にさせていただければと考えております。</p> <p>完全に生態を明らかにするまで待つのではなく、保存計画を策定するというところを目標にさせていただければと考えております。そうすれば、直井さんのお話の中でありました、”地元の方の御要望”についてもっと前向きに答えられるのではないかと考えております。</p>
<p>森委員</p>	<p>私は、イノシシの捕獲の関係で鹿野山の周辺をよく歩いて回っておりますが、地元の農家の方にはサルが増えていることについて何とかならないかと要望を受けております。それでも、メスが入った時にお願いをして発信器を付けてはおりますが、離れザルの類のサルがどんどん増えてきている印象を持っております。今、群れが幾つあるか把握が難しくなっているのではないのでしょうか。サルは3日か4日周期位で同じ場所にやってくる傾向がありますので、そのタイミングを狙って捕獲してはおりますが、被害の方が多くどうしようもないと言っても良い状況です。サルの個体数の調整等について、ある程度は図っていかないと、被害は増える一方にあると思います。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、森委員から地元の状況についてお話を頂きました。</p> <p>また、千葉県の高橋様よりアドバイスを頂いておりますので、今後の中で対応をしていきたいと考えております。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>他にないようですので、議長の職を解かせていただきます。</p> <p>長時間にわたり御審議ありがとうございました。</p>
<p>島田生涯学習 課長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、平成26年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」被害防止管理委員会会議を閉会といたします。ありがとうございました。</p>